

健康な市民 健康な経済 健康なまち

網走市の最上位計画である第5次網走市総合計画は、5つのまちづくり目標を定めました。

まちづくり目標の実現のためには、住民ひとりひとりが、さまざまな課題解決のために、学習や具体的行動をとることが重要です。学習する市民、行動する市民は、網走市の未来を築く大切な資源であり、「豊かなオホーツクに活みなぎるまち 網走」づくりのための原動力となります。

私は市長就任以来、市民、経済、まちの「健康」をキーワードとして、自主・自立・自助、そして相互扶助を基本とし、「協働のまちづくり」を市政執行の基本に掲げ、様々なチャンネルを通して対話を行い、協働のまちづくりに向けた歩みを進めてまいりました。

その中でいただいたヒントをもとに、新たな政策の展開も図ることができており、対話を通じたまちづくりの一步が築けたのではないかと感じています。

健康が何にもまして大事なことは誰もが認めていることですが、健康を維持するために継続した努力を一人で続けることはとても難しいことです。

健康寿命を延ばすためには、家族や仲間と一緒に、健康づくりのための強い動機と明確な目標を共有し、地域ぐるみで健康づくりに取り組むことが必要です。それを市が的確に支援することで、市民一人ひとりの暮らしの質を向上させ、自分らしく生きていくことを可能にします。

網走市では、市民がどのような健康レベルにあっても、自分の役割や生きがいを持ち、自分だけでなく、周囲の人たちもより良い暮らしができることをめざします。

網走市長 水谷洋一

1. 網走がめざすまちの姿

私たちは、母なるオホーツクの海に抱かれ、森と湖の美しい自然に囲まれた網走に住んでいます。

今、私たち一人ひとりが幾多の困難を乗り越えてきた先人の知恵と力を継承し、網走が持っている資源を最大限に生かして、新しいまちづくりの道を拓かなければなりません。

私たちは、すべての市民が幸せを感じることができ、個性豊かで私たちが共に誇れる網走を、私たち自身の手によって築くため、人間尊重を基本に、まちづくりを進めます。

**「豊かなオホーツクに
活みなぎるまち 網走」**

その目標実現に向け、みんなで共有する将来像として、網走がめざす3つの姿を掲げました。

心身ともに健やかに笑顔で暮らせる人々の和

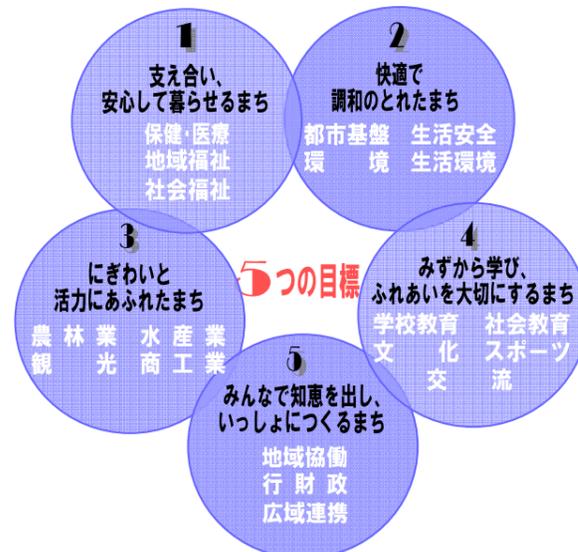
多くの市民が望んでいる心身の健康と安全や安心、満足から生まれる笑顔が絶えず、市民相互の支え合いやコミュニティ、訪れる人々とのふれあいなど、人と人との交流がいろいろな場面で見られるまちをめざします。

自然と共生し五感に響く魅力を誇れるまち

かけがえのない自然を敬う気持ちを大切にしながら、共存する暮らしをめざします。大地(畑)、海、湖、川、空、食、文化などさまざまな網走の魅力を人々に誇れるまちをめざします

“うみ”と“大地”に根ざした活力ある産業

オホーツクの海と5つの湖からなる“うみ”と“大地”から生み出される数多くの地域資源をもとに、幅広い分野で産業が活発に展開されるまちをめざします。



2. 網走市民健康づくりプラン

このプランは、第5次網走市総合計画や健康・スポーツ都市宣言の趣旨を踏まえた保健・医療に関する個別計画です。

このプランは、これまでと同様に、自分の健康は自分で守ることを基本としながら、社会情勢の推移や新たな課題に適切に対応し、一人ひとりの健康づくりをみんなで支えるため、上位計画との整合性を図りつつ、長期的・総合的な視点から網走市民の「生活の質の向上」の実現をめざすものです。

将来像

みんなの健康 元気にあぼしり。

基本理念

「まなぶ・みる・つなぐ」の質を高め、市民一人ひとりの健康づくりに寄り添い、励まします。

「暮らしを支え、暮らしをつくる」協働ができるプラットフォーム機能を整えます。

基本目標

まなびで築く 地域に根ざした健康づくり
健康づくりから 暮らしを支える地域保健
保健・医療・福祉を 市民とつなぐ地域医療



3. 健康都市プログラムの必要性

●健康を支える社会的な仕組みづくり



市民の健康づくりは、一人ひとりの努力で健康を維持・増進することが基本ですが、個人の努力だけではどうにもならない多くの要素が複雑に関係していますので、それを家族や地域のみならずで支え、健康づくりをしやすい条件を公共機関などが社会的に整える必要があります。

そのため、健康づくりプランⅢに基づく保健・医療の施策と、健康づくりを直接的・間接的に支える分野の施策とを一体的に進めるために、『健康都市プログラム』を策定します。

●健康都市プログラムの策定に向けて

《北海道大学公共政策大学院との包括連携協定》

【2011.7 締結】

保健や医療、福祉などの健康づくり施策と医療費の関係性を、科学的根拠に基づいて、実証的な多面的分析を行うことで、これまでの健康づくり施策の到達点を確認し、今後の政策展開について方向を定めます。

《網走市民健康づくりプロジェクト事業》

【2012~2013】

北海道大学公共政策大学院や東京農業大学、日赤北海道看護大学、地域センター病院などの人的・物的資源を活用し、市民の健康寿命を延ばすために、一次予防事業を重点的に推進します。

そのため、健康都市プログラムのリーディング事業として、次の事業を実施します。

●予防接種体制を整備・充実させることにより、乳幼児や少年期に多い疾病を予防し、将来的には小児医療の負担を軽減する。

○VPDゼロ運動推進事業

●運動の習慣化や食生活の改善により、生活習慣を改善し、将来的な医療費を抑制する。

○健康づくり指導者ライセンス制度事業

○生活習慣改善PR推進事業

○ウォーキング&ランニング推進事業